十三日夕刊
磐城時報
福島縣石城郡平町三屋町古　編輯兼發行人　岡田弘成　印刷人
福島縣石城郡平町紺屋町古　印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町古　發行所　磐城時報社
一部金弐錢　一ヶ月金卅錢
廣告料一行十六字詰金五十錢
日刊（日曜祭日）翌日休刊

五萬人に給水可能の 小名濱町上水道
明年度末迄に竣工を急ぎ 具体的調査に着手

小名濱町上水道敷設計畫はいよ〳〵具体化し三千四百圓の豫算で調査に着手し明年五月までに設計を完了、六月から着工する豫定である。同水道は鮫川水源地から取入れ自然流下並に鮫川江筋からの電力揚水の二計劃に基き調査を進めてゐる。自然流下式の經費は四十九萬圓、電力揚水に要する工費は卅二萬圓であるが、恒久的安全方針に立脚して前者の自然流下案を採用するに至るらしい、何れも五萬人に給水の計畫で遲くも來る十三年三月末までに竣工の豫定。

結婚インフレデー
明十四日の黄道吉日に 新夫婦の大量製産

明十四日は土曜日・大安・それに十二支はきのへね—このおめでたい日に花嫁、花婿が大量生産されるといふ結婚インフレ景氣？—この日平町だけでいつたい幾組ぐらひの新郎新婦が出來あがるか？その数は一寸想像がつかないが、とにかく縣社子鍬倉神社の境内までが神前結婚式場に動員されるといふ賑やかさ、花澤兎五六さん、門傳清吾さん……等々のお宅でもこの吉日に婚禮式に招待され而もその一つが月下氷人の役を受持たせられてゐるといつては老の身の多忙を嬉しさうに吹聴してゐる殊に忙がしいのは谷口、住吉屋本店等の披露會場だ、土曜日を目當てに大小忘年會の豫約はあるし、大事な花嫁花婿さんの披露會もあるし轉手古舞の景氣到來に微笑んでゐる『お部屋は何處も豫約濟みです』と……結婚—披露會—新婚旅行とこの夜平驛から幾組かの新郎新婦を乘せた艶めかしい花嫁列車が出ることだらう。

小名濱魚市場愈よ着工
請負者も決定

小名濱町々營魚市場建設はいよ〳〵廿日東京伊藤式コンクリート製造所請負ひの下に着工と決定したが、工費は埋立六万五千圓建築費四萬四千五百圓、總額十萬九千五百圓の巨額に上る大規模な荷揚場、自動車寄場は勿論給水、照明設備を整へた全國有数の模範的市場で明年十月までに竣工の豫定である。

兵事々務聯合研究　平、植田、四倉三署管内兵事務研究會聯合總會は十八日午前九時から平町會議事堂で開く

赤井茨川改修陳情
猪狩村長以下出縣運動

赤井村を貫流する茨川は去る七年度から三ヶ年繼續匡救事業として總額三萬五千圓を投じて下流一帶を改修したが赤井嶽麓附近の水源地帶上流方部一千五百米が未改修のため過般の豪雨により三ヶ所が缺潰したのでなほ三萬圓で全工程を改修してもらいたいと猪狩村長以下數名が十三日出縣陳情した。

出水の夜の善行
内郷消防手表彰

内郷村大字白水第一組消防手大越久五郎（三六）同字居住平町河田鐵工川島秀勇（三一）外一名は去る十月廿六日豪雨による出水で溺死せんとしてゐる同村神奈川炭礦夫武藤登（三一）を協力危險冒して救助したことが此の程柴田平署長の耳に入り來る十五日同村消防機關の當日署長から表彰されることになつた。

不正賣出しに光る警察の眼
平署の取締り

平署では既報の如く歳末時の特別取締りを執行することになつたが、殊に左記各項に就ては嚴重に取締り不正行爲または犯罪發生を未然に防止することになつた。

福引景品付き賣出し▼店仕舞投賣等の廉價販賣▼松飾り、注連飾り等の強要▼賃餅搗及び商品量目等の不正▼料理屋飲食店等及び酌婦女給等風俗稼業者取締▼万才、猿廻し遊藝の強要▼諸興行場及び興業取締り▼賣出しその他臨時に設備する廣告、裝飾物の取締▼初荷の交通取締▼浮浪者取締▼火氣取扱ひ業者に對する火災豫防止の取締。

磐炭の配當 年八分据置
純益四十万圓

黒ダイヤ景氣の頂點にある磐城炭礦では今期決算重役會を廿日海上ビルで開くことになつたが今期純益金は四十四萬八千圓で前記繰越金十一萬二千圓合計五十五萬圓の處分案は法定積立金二萬二千圓、從業員退職給與基金五萬圓、後期繰越金十一萬四千圓で、株主配當は年八分据置三十六萬圓を計上してゐる。

列車事故現場縣道全通

過般の磐越本線列車事故で交通杜絶した平—小野新町縣道はその後小野新町保線區で工費全額を負担復舊に努めてゐたが昨十二日完成した。山崩れのあつた縣道山腹には高さ二十間の石垣を築堤してありこれで同地方部の交通難は一掃されたわけである。

無智な農民を欺き粗惡品を賣付く
通信販賣の裏面この通り

最近石城郡内に『ゴム底地下足袋大安賣』と稱して農民を欺ぎ粗惡品を賣り付ける不良通信販賣營業者あるを平署で探査したところ右は名古屋市驛前サービス商會ゴム通信販賣店佐藤誠（三〇）の行爲と判明、誠は十二日名古屋署員に捕はれ取調べられてゐるが、石城郡内では夏井村藤間坂本善太郎外百余名に上つてをり被害額も相當額に達してゐる。

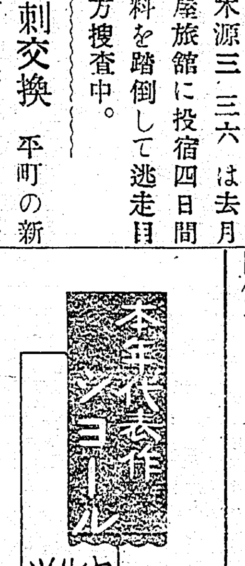
▲**第四校委員會**　平町第四小學校委員會は十三日午後一時から開き、土地買收案の協議。

▲**宿料踏倒逃走**　安積郡富田村生れ鈴木源三（三六）は去月初旬平町扇屋旅館に投宿四日間六圓余の宿料を踏倒して逃走目下平署で行方捜査中。

▲**新春名刺交換**　平町の新年名刺交換會は恒例により明一月一日午前十一時から聚樂館に催すが會費五十錢、希望者は廿日までに各區長に申込まれたい。

▲**漁夫が頓死**　四倉町字新町漁業家鈴木助次氏船甚盛丸乘込機關士本籍宮城縣本吉郡新月村大字新城字磯澤生れ吉田登（二九）は十一日午後九時頃四倉港内に停泊中の漁船甚盛丸内で頓死してゐることを昨十二日午前十時半頃發見し四倉署より大宮部長出張檢視の結果窒息死と判明した。

佐藤代議士四倉で講演　今十三日午后六時より四倉小學校講堂に於て代議士佐藤正太郎氏の歐米視察演説會を開催する。



四倉吉田醫院内科診療開始　四倉町字仲町吉田醫院では此の程平町共濟病院内科部長佐藤倘輔氏を同醫院の内科部主任として招聘本日より内科を担任診察することに成つたが吉田醫師は外科婦人科等を専門であると。

昭和十年史回顧錄（3）

廿七日　破産法違反の罪に問はれた井上茂作氏外二名の控訴審は仙臺控訴院から無罪の判決▼植田宿の血嵐—土工の亂鬪で二名傷死

廿八日　平消防組が後藤内相から榮譽の大表彰旗を授與さる▼植田乃傷事件で被害者側の身内潜入、京濱掘指の大立物中田峰四郎氏まで乘込み加害者中山組と對立、流言飛んで植田の町凄慘の氣漲つ

廿九日　横山平署長警視に昇任榮轉

四月

一日　花に魁けて國防と滿蒙産業博覽會開く▼郡下町村農會代議員選擧執行

十日　招魂祭、石城郡在郷軍人大會に四王天中將來平獅子吼▼觀櫻會のトツプを切つて記者團主催花見宴▼武道大會に赤井（劍道）神谷（弓道）優勝

十一日　井上茂作氏雪冤慰安會

十二日　業務成績優秀で平驛表彰さる

十四日　平消防組表彰旗授與披露會▼この日から松ヶ岡公園さくら滿開▼廿七同縣下土木請負業大會（平署會議室）▼小田炭礦更生の道へ—小田吉治氏の貸金切捨て

十五日　入山炭礦創立四十週年記念祝賀會（湯本）

十九日　平署管内消防聯合檢閲▼松ヶ岡公園花見絶頂、この日の人出七千

廿五日　小川江水利議員改選

廿七日　縣下職業紹介所長會議

廿九日　マルトモホール（スポーツの森）開く—入山對磐中野球戰一五對一〇で入山勝つ▼入山、磐中、平商對抗陸上競技會に入山壓倒的成績で優勝▼宗家直門觀世友資氏を招き觀世謡曲會（谷口樓で）

かまぼこ
製造
折詰物

平町一丁目（電話一四一番）

お惣菜用
さつま揚
吉原揚

天ぷら

磐城名物
もちあめ
磐城名産
鰹節

平町二丁目
北海屋商店
電話三八八番

耳鼻咽喉科
高橋醫院

耳鼻咽喉科
醫學博士　高柳博明

平町駅前（電三三六）

（入院應需
自炊ノ便アリ）

事務員採用

小名濱町勤務事務員を至急採用す
希望者は履歴書持參午前八時迄平町紺屋町十五番地
佐藤作平方に來談の事

小名濱水產株式會社

鰹節製造
折詰仕出し
お惣菜用　吉原揚　さつま揚

平町二丁目　電話三〇五番
藤市

平町田町（電話五一三番）
高久病院
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹菊雄

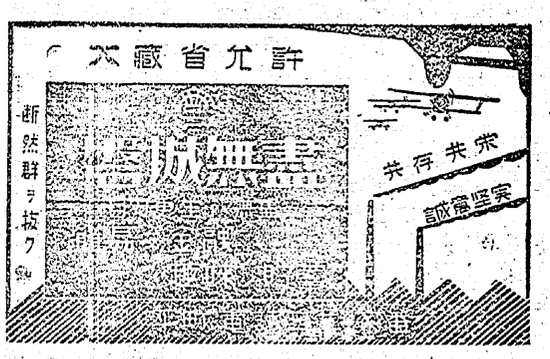
內科小兒科　外科花柳病科
耳鼻咽喉科　レントゲン科

鮮魚
鯛　銀鯛　目抜切身　貝燒
海老　甘エビ　甲イカ　鮭・鱒
甘鯛　帆立貝　ワラサ　北寄貝
白魚　ワカサギ　鰹　其他

日本鑛業特約店（電三八三六番）
御用命　平製氷會社
委託販賣店
印魚問屋
四丁目五二八番

RESTAURANT.
TEA AND WINE
洋食
菜果
ルンゴン
平町電六六六番

牛豚肉
平町田町
二二三番
電話三三番



磐城名物
もちあめ
磐城名産
鰹節

平町二丁目
北海屋商店
電話三八八番

現代的
紫山流盤景教授

一、材料器具が安く何回でも使はれる。
一、練習二、三回の初心者の作品でも直に床の間を飾るに充分である。
一、一週間一回六ヶ月で修業出來る。
一、繪畫の素養全く無き老若男女どなたにも習得出來る。

修得短期
經費低廉

平町白銀町
紫山流
盤景師範　高橋光山
電話六三八番

映畫館
電氣蓄音機
度%
純99%

キノサシ
ハカリ
マス

◎秤ノ取締・鍾糸・修覆致シマス（カリトリチタマイトトリカヘ）
◎寫眞機
材料一式

體溫器
寒暖計

開業
大藏局
電話四〇番

蓄膿症根切藥
快鼻湯

本劑は幾多の藥劑ありと雖他藥の及ばざる良藥であります左の病症の方は一時も早く服用され快癒され人事を御奬め致します。
蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多加症、頭重、肥厚性鼻炎に靈効あり。
其他鼻骨彎曲症、並に中耳炎に偉大なる神効ありと賞賛されて居ります。

家傳胃腸藥
快鼻湯　製造元
磐城國平町一丁目
責任製劑者　藥劑師　水野清一
水野藥局
電話六九九番